



九州大学 国連「新国富報告書」2018代表





### GDP信仰からの脱却

- スティグリッツらによる新たな社会指標の検討(仏サルコジ元大統領諮問)
- GDPはもっぱら量的な側面に注目するものであり、質や価値は考慮されていない
- 幸福はフローの所得や消費のみならず、富あるいはストックの影響も受ける
- •幸福は、持続可能性と密接に関わるものである
- 持続可能性の問題の本質は、どれだけのストックを将来 世代に引き渡すことができるかである

## 新国富報告書へ(Inclusive Wealth Report)

• インフラの価値に健康、教育、自然の価値も考慮



## 国連 持続可能な開発目標(SDGs)

• 2015年国連目標設定(2030年まで)





































#### 一番は"包括的な成長"

・豊さ(新国富)の成長



#### 今日の目的

豊かさのポテンシャルを計測し、

国・地域で活用する

#### 持続可能性指標の今後

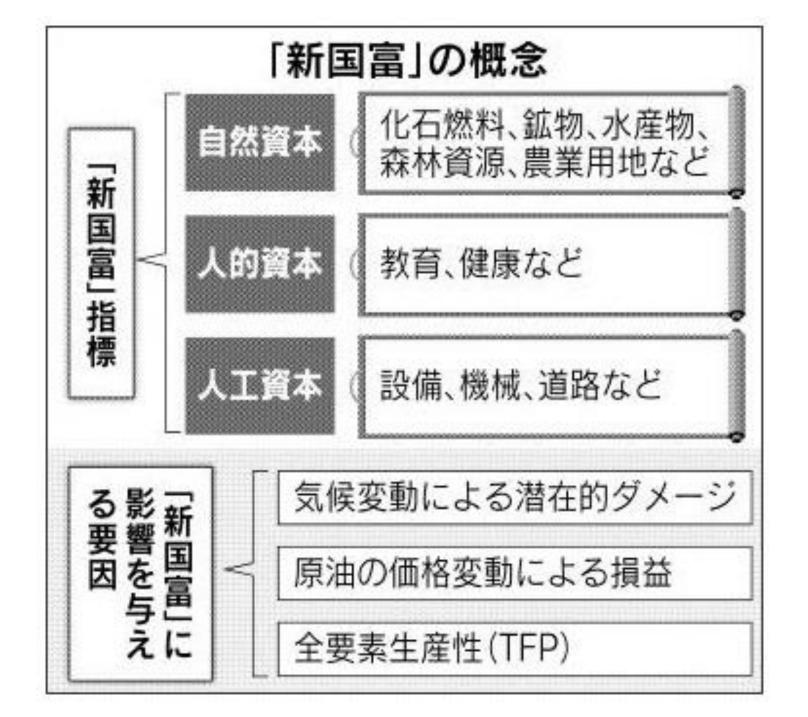
(今) (将来)

新国富 → 国富

Inclusive wealth → wealth

# Inclusive Wealth Report 2014

Measuring progress toward sustainability



#### 豊かさの今後の指標

•「いずれすぐに、Inclusive(包括的)を外して Wealth(富)とだけ呼ばれるようになるだろう」



国連環境計画(UNEP)事務局長Erik Solheim「持続可能な社会へ導く指針になる」



・ノーベル経済学賞 ケネス・アロー 「環境・教育・健康まで含めた経済学の集大成である」



### 2018年に新報告書を代表として発表















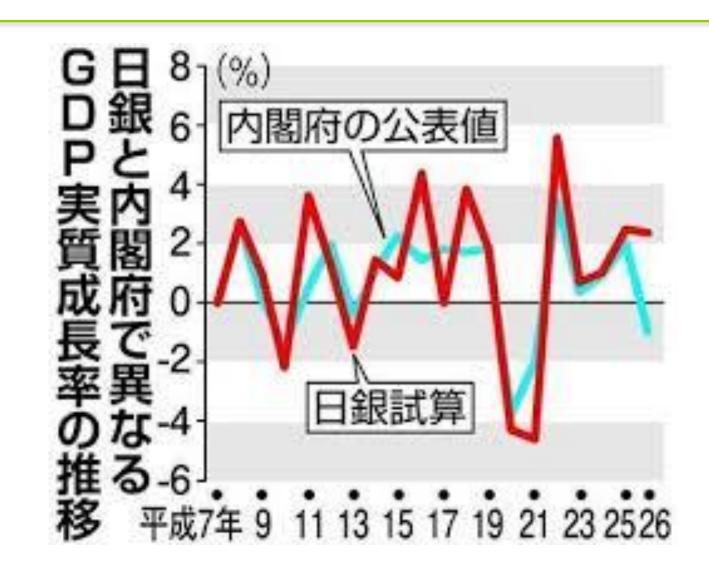




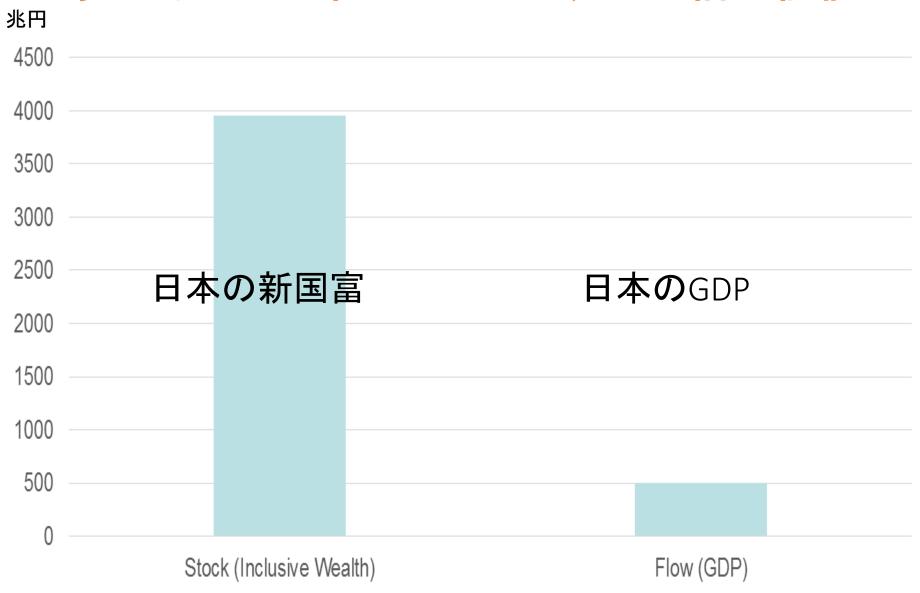




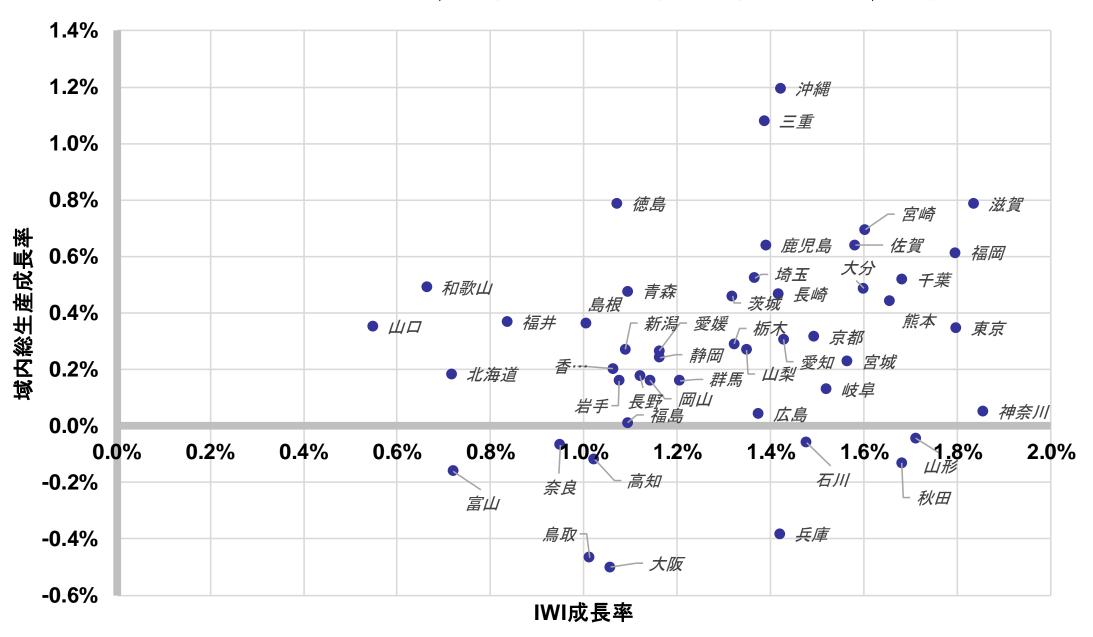
### 確かなものはあまりない



#### 見えなかった本当の豊かさ、GDP8倍の価値



#### 地域豊かさの成長率と域内総生産の成長率



## 新国富(豊かさ)

#### 国民の幸福感、計測を 自民PT提言

2017/5/21 23:33 日本経済新聞 電子版

**FUJITSU** 

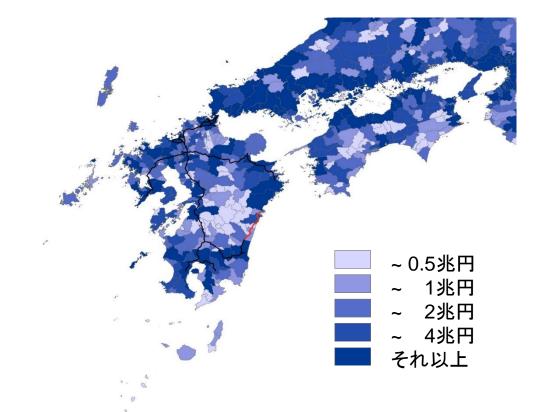
自民党の新経済指標検討プロジェクトチーム(座長・林芳正元農相)は国民の幸福感を計測するよう政府に提言した。健康や暮らしの安心などの度合いを測ることで、国内総生産(GDP)だけではみえない社会の豊かさを把握しやすくする。

提言には「政治が参照する統計はGDPだけでは不十分だ」と明記。幸福感や生

#### 地域特性を見える化するツール

■ EvaCva (エヴァシーヴァ) (2014年12月から公開中)





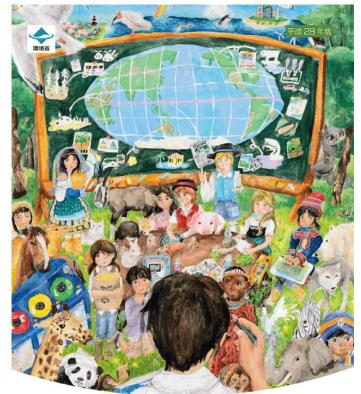
#### 自然資本の活用(環境省)

• 2016年版環境白書「地方創生・国土強靭化に向けては、

...自然資本の維持・充実・活用」

・第五次環境基本計画(中間取りまとめ)「地域における自然資本・人工資本・人的資本を持続可能な形で最大限に活用し、地域内における環境配慮型の投資・消費を活発化させていくことが重要」

・福岡県環境総合ビジョン



環境白書循環型社会白書/生物多様性白書

# 地方の経済2017ー地域の「稼ぐ力」を高める一(内閣府)

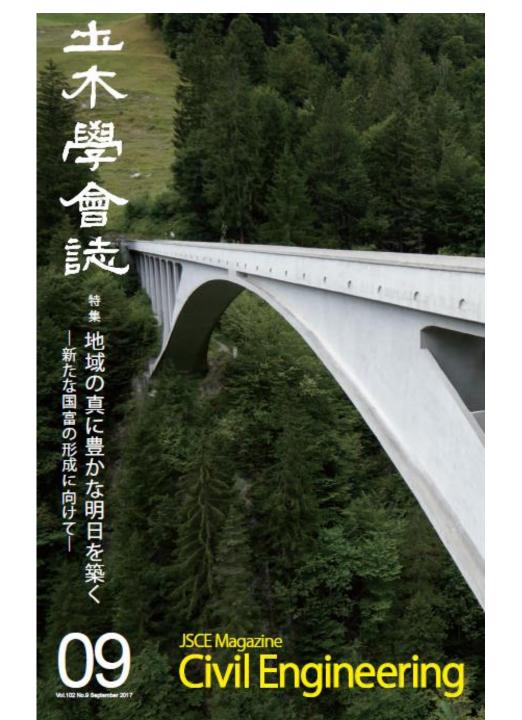
・包括的な豊かさの指標(IWI)をもとに、多くの計算例を紹介した

地域の「稼ぐ力」について、自然資本、人的資本、物的資本といった 地域にあるストックの賦存状況に注目する



#### インフラ評価

・地域で今後どこまで社会資本を整備 するかの議論に新国富活用



### 政策決定プロセスに実際に利用している

経験+勘 → ステークホルダー(住民+政策決定者) 意見の明示化(金銭単位)

1. 自治体の目標(福井県、水俣市、久山町)

- 2. 部署及び担当政策での予算額を算定(久山町)
  - 公園整備や保育所充実など2225万円

#### 自治体評価

古賀市(一人当たり2117万円、合計1兆2272億円)総合16位(現在は、20位に後退)

人工16位

人的(健康15位、教育13位)

自然37位

参考: 久山3435万

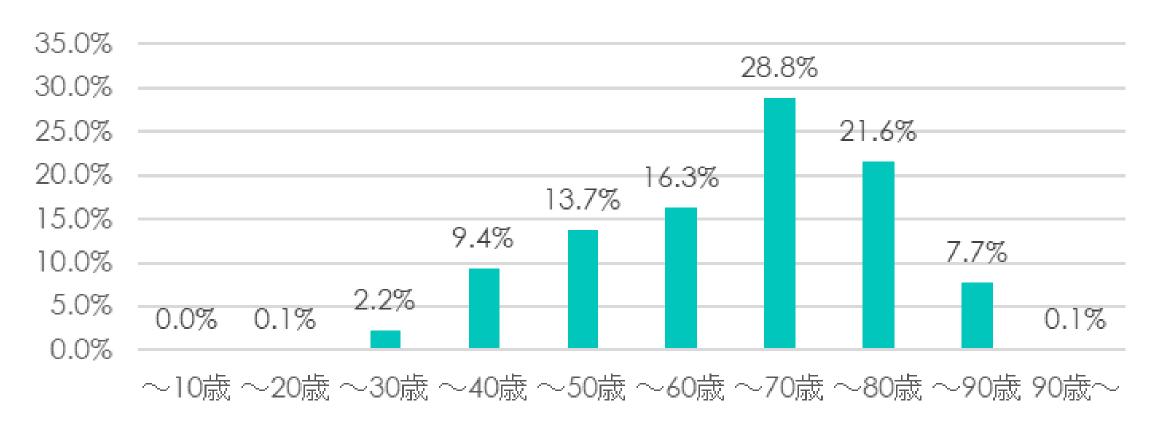
### 豊かさ調査

アンケート調査票を久山町内の約3,000世帯に配布し、合計1544世帯からの調査票を回収した 49問、13ページ(回収率50%強)

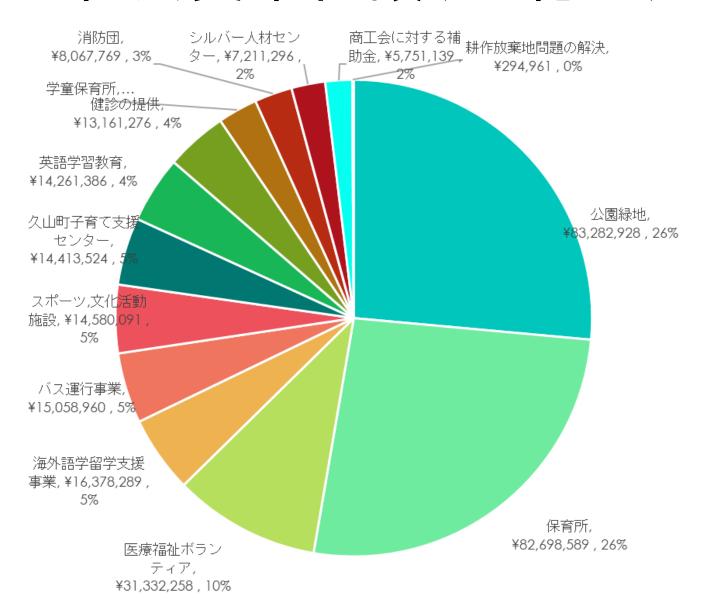
住民アンケート各種項目による二一ズ調査及び社会資本総額の平均値、費用対効果比を参考に今回方針を決定しており、一人あたりの支払額平均については、年代別の回答状況を踏まえ検証を実施

#### 回答者の年齢

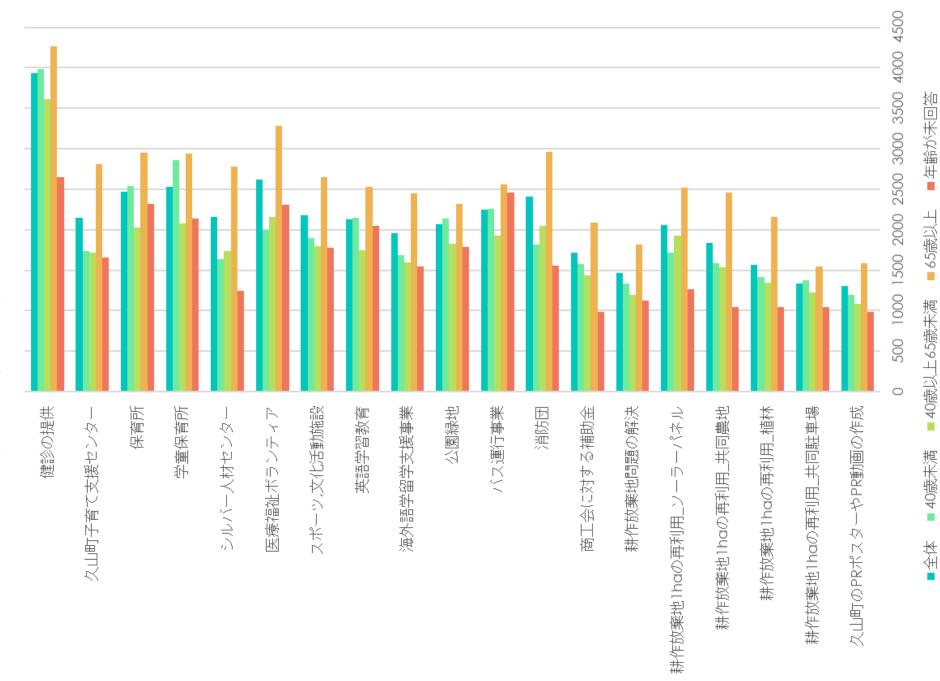
#### Q3年齡



#### 久山町の社会資本総額(3.1億円)

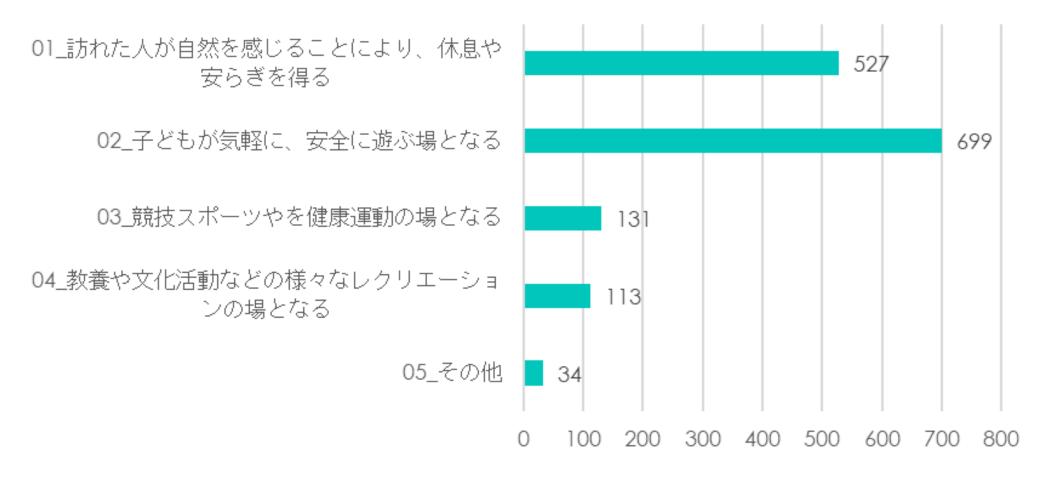


# 1人あたり支払意思額(年齢別)



#### 公園・緑地について重要だと思う機能(人)

Q38



#### 公園緑地

- 社会資本総額の価値が最も高い
- 一人あたりの支払い意思額平均が高い
- ・公園緑地について重要だと思う機能として「子供が気軽に安全に遊ぶ場となる」が最も高い

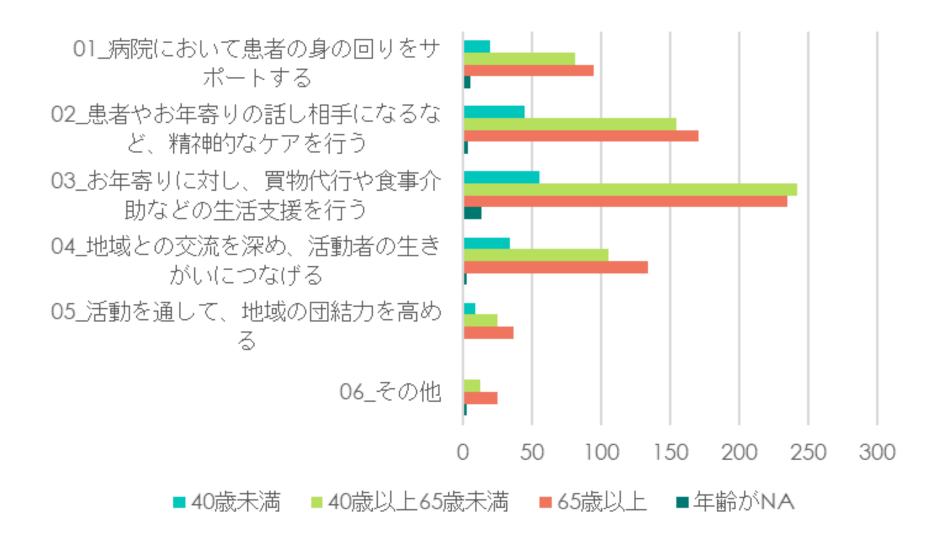
→ 公園遊具等の設置の重要性

#### 保育所

- 社会資本総額の価値は高い
- 一人あたりの支払い総額は高い

→ 保育所の待機児童は無いが、定数に対する問題提 起&子供を預けられる環境の拡充の重要性

# 医療・福祉ボランティアについて重要だと思う機能



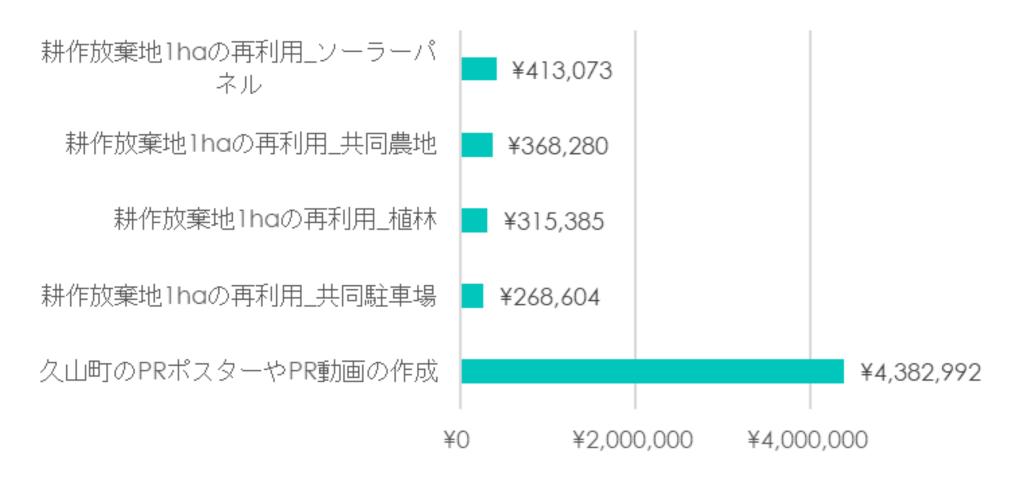
#### 医療・福祉ボランティア

- 社会資本総額の価値は高い
- 医療福祉ボランティアの減少に関する一人あたりの支払意思総額は高い
- •「お年寄りに対し、買物代行や食事介助などの生活支援を行う」という二一ズが高い

→ ボランティア育成の重要性

#### 新事業への支払意思額合計

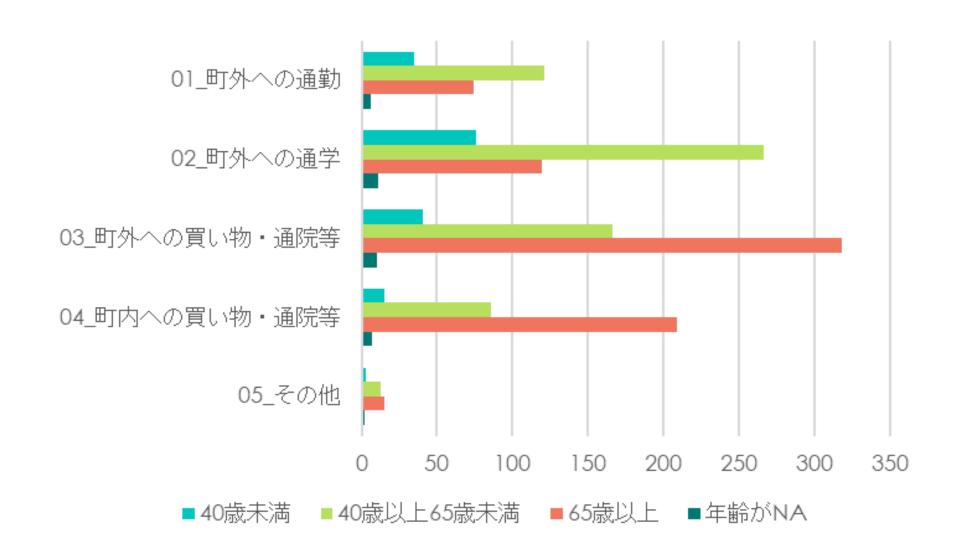
#### 新事業への支払意思総額



### 新事業

・久山町のPRの推進は、一人あたりの支払意思額の平均は低いと評価されているが、資本に対応した数値で換算すると、支払意思総額は耕作放棄地に関する事業と比べ、金銭価値は高い

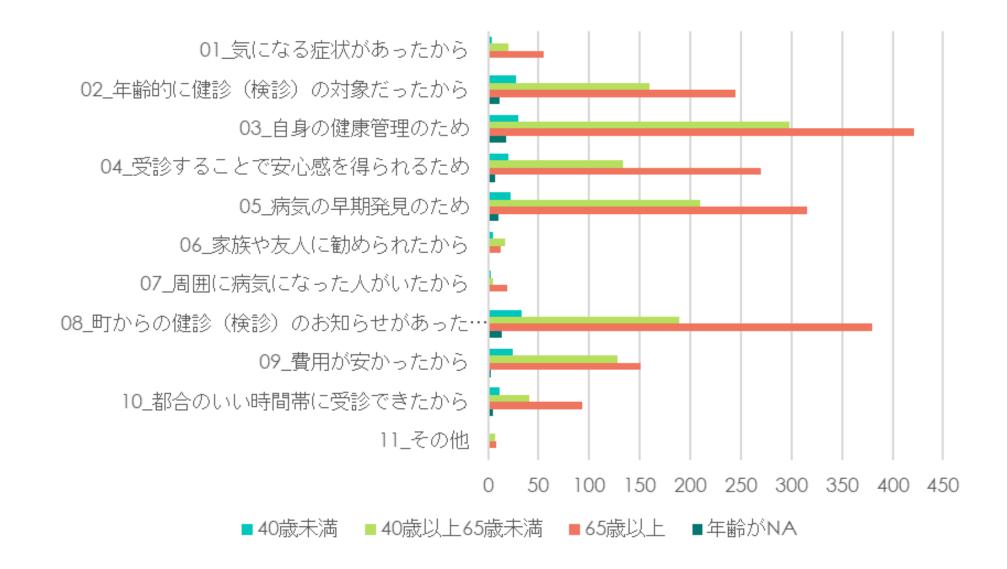
### 地域の公共交通について重要だと思う機能



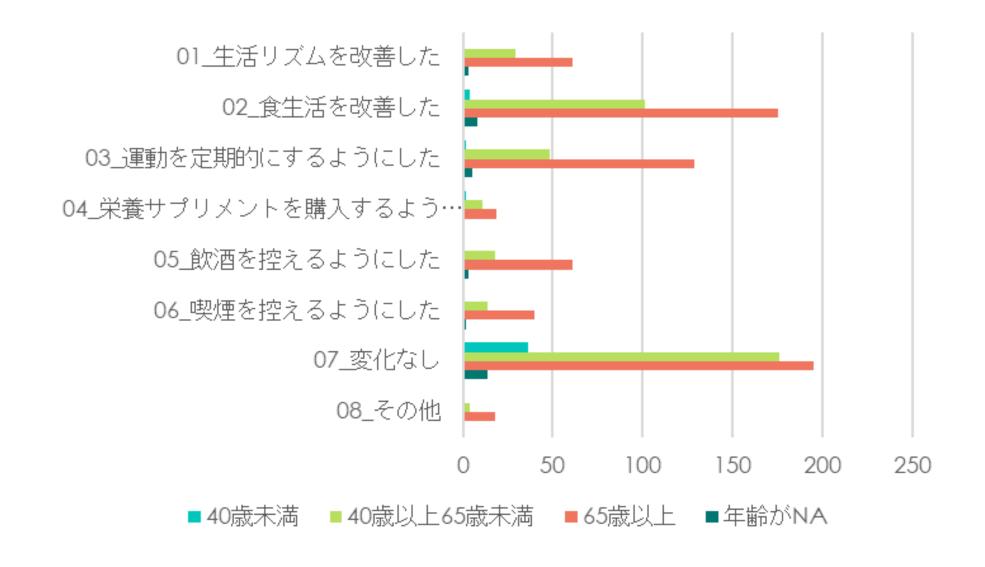
#### 地域公共交通

- •「町外への買い物・通院等」の回答が一番高い数値であり、次に「町外への通学」の順になっている。しかし、年代別でみた場合、65歳上の人が町外への買い物・通院ニーズが高いが、一人あたりの支払意思額では、それ以下の世代を合わせた場合、「町外への通学」のニーズの方が高い結果となっている。
- → 定住促進の観点から、通学の利便性を向上させる バス運行の強化を図る重要性

### 健診を受けた理由



#### 健診結果による生活の変化



## 健診事業

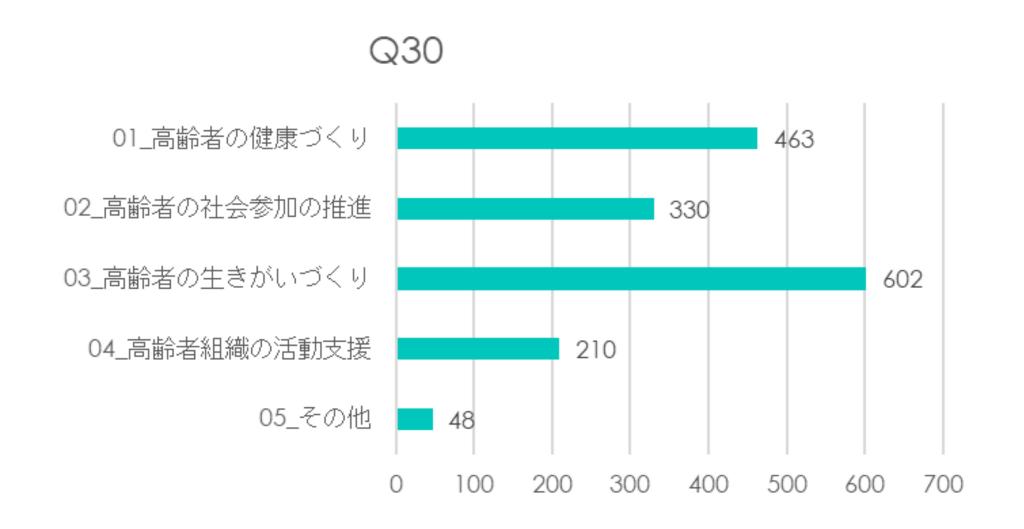
・社会資本総額の価値は低いが、一人あたりの支払い意思総額は高く、健診に対する住民の満足度は高い

→ 健診事業の充実を図りながら、予防に向けた取り組みについて強化を図り、健康資本の増加に繋げる重要性

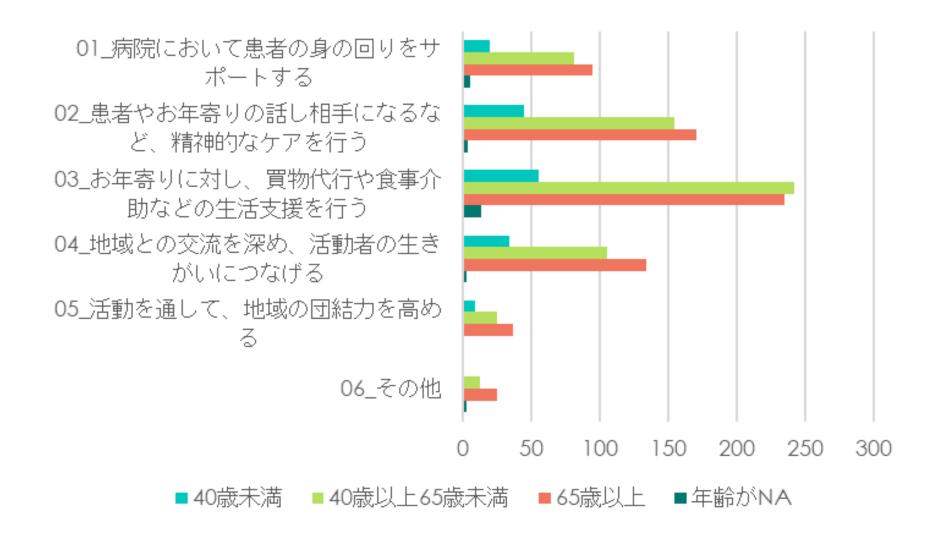
#### 簡易計算による費用対効果比

久山町社会資本	H29年度予算額 (千円)	社会資本額(千円)	社会資本額/予算額
健診の提供	¥62,649	¥13,161	0.21
子育て支援センター	¥8,070	¥14,414	1.79
公立保育所	¥134,390	¥82,699	0.62
学童保育所	¥11,067	¥8,462	0.76
シルバー人材センター	¥10,530	¥7,211	0.68
医療福祉ボランティア	¥7,659	¥31,332	4.09
文化施設・スポーツ施設	¥77,582	¥14,580	0.19
英語学習	¥20,000	¥14,261	0.71
海外語学留学支援	¥1,500	¥16,378	10.92
都市公園	¥1,900	¥83,283	43.83
バス運行事業	¥89,423	¥15,059	0.17
消防団	¥54,312	¥8,068	0.15
商工会	¥4,100	¥5,751	1.40
耕作放棄地	¥39	¥295	7.56

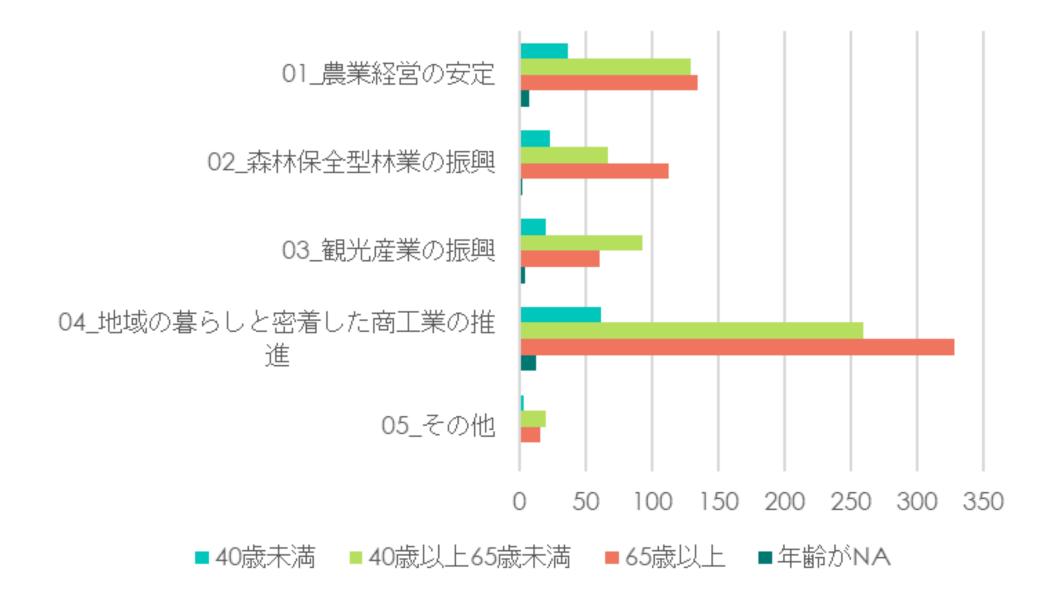
# 高齢者が活躍する町を作るために重要だと思う機能



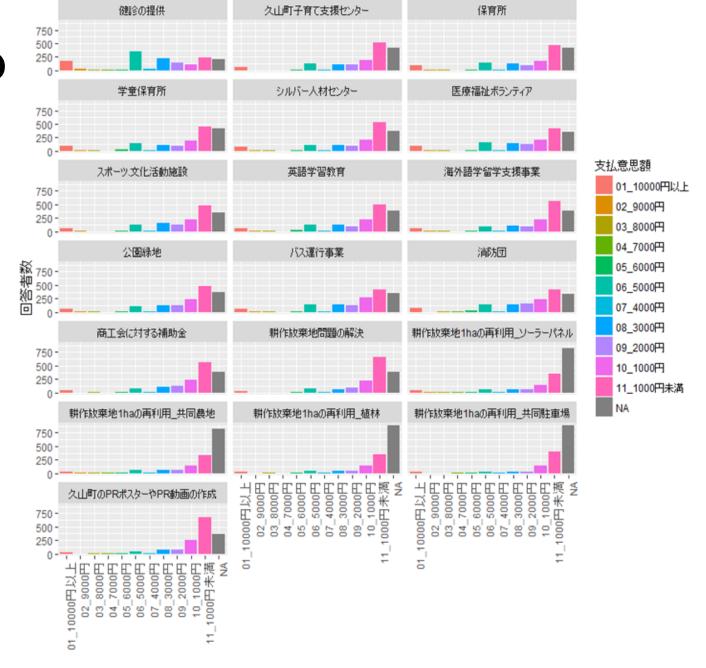
# 医療・福祉ボランティアについて重要だと思う機能



#### 産業振興について重要だと思う機能



# 支払意思額に関する質問の集計結果



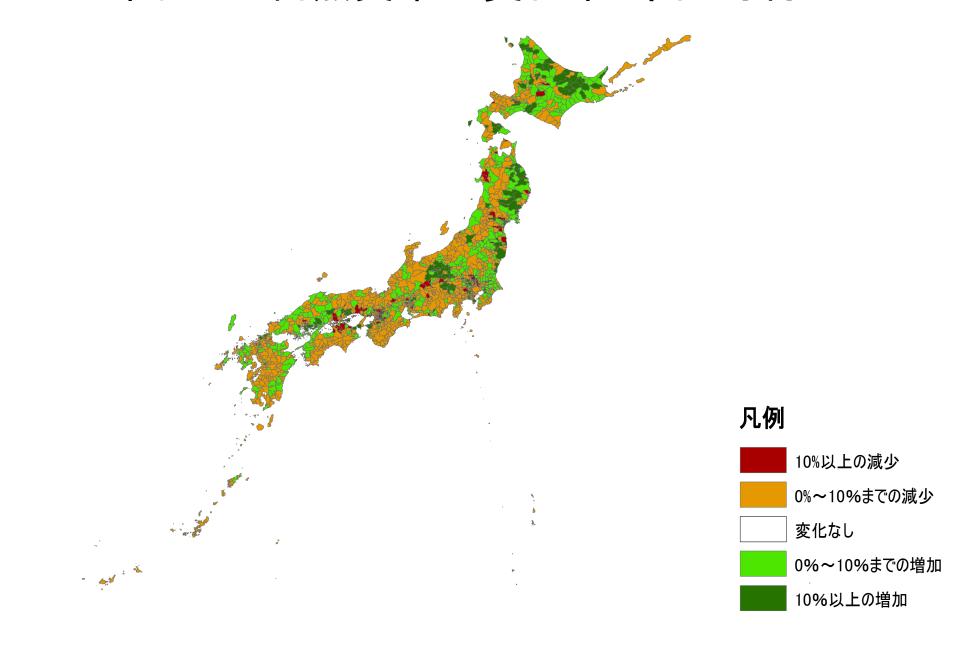
支払意思額

### おわりに

国連からの提案を地域の政策へ位置づけ、地域での成功例を出す

その後に普及する

#### 2010年~2050年までの自然資本の変化率:市区町村レベル



岩波ブックシット No.961

## 新国富論

新たな経済指標で 地方創生

> 馬奈木 俊介 池田 真也 中村 寛樹

GDP では測れない ほんとうの豊かさとは何か

フローでなく、ストックを試算する新指標を活用し、 将来世代に残せる富、持続可能なあり方を探る。



定価(本体580円+税)

## 豊かさの価値評価 豊かさの価値評価 新国富指標の構築

馬奈木俊介

馬奈木俊介[編著]

中央経済社

新国富指標の構築

中央経済社